

SYMPHONY

134号
令和5年3月1日
社会福祉法人 七恵会
第三長上苑 発行

採用事前研修 説明会の開催

当法人では毎年、次年度に入職する新卒職員に4月1日入職するまでの期間、事前研修を開催しています。この研修の目的は「知識・技術を事前に身につけることができる」「配属先の職場環境に事前に慣れて入職ができる」として行っています。

4月から新卒介護職員が9名入職いたしますので、2月7日に採用事前研修説明会を開催いたしました。参加した新卒職員は、はじめは緊張していましたが時間が経つにつれて徐々に笑顔もみられるようになりました。説明会の中で理事長から配属先の発令があり、任命を受けた時に、全員が気を引き締めるような表情をしていたのが印象的でした。

そして、第二長上苑には2名、第三長上苑には1名が配属され、2月から研修に入っていきます。いつも、この時期に思うことですが、新人職員が成長していくためにはどのように育成をしていけばよいのかと悩みます。でも、先輩職員たちが丁寧に新人職員を育成してくれていますので、独り立ちができ良い介護職員に育っています。そのため、現場の職員は業務をしながら教えていくこととなりますので、現場の職員には本当に感謝しています。この先も、職員一人ひとりが介護の仕事のやりがいをもつことができ、職員全員が「入居者の皆様がより良い生活が送れるためには」を考えながら業務がすすめられるように、これからも、人材育成に取り組んで参ります。

施設長 水谷秀夫



理事長の講話



理事長の講話を聞く新入職員

面会について（予約制）

○直接面会について

- ・PCR検査による陰性証明発行から72時間以内の方。
当日は陰性証明の持参をお願いいたします。（スマホ等での画面でも確認可）
- ・面会場所はご本人の居室。面会の可能な人数は3人までとさせていただきます。
- ・面会時間は15分以内厳守をお願いいたします。
- ・面会時はマスクを外しての会話、飲食は禁止となります。

○窓越し面会について

- ・月～金9:00～15:30までの予約制となります。オンライン面会も継続しております。



社会福祉法人
七恵会

七恵会のロゴマークをご紹介致します。

ロゴマークの、「樹の幹」は七恵会の「七」の文字に見立て、右上がりのシルエットで法人・職員の成長を表し、「七枚の大きさの異なる葉（大小の円）」は法人理念の「無財の七施」と高齢者福祉、児童福祉、障害児福祉、地域貢献といった事業の多様性の表現、家庭的なサービスを通して暮らしの豊かさを追求する温かさ、また、地域に根ざした活動を通してご利用者様、ご家族様、地域社会が感じる親近感を表現し、ポジティブな印象を与えています。

あらゆるものがつながりあってこの世の中は成り立っています。人との出会いやつながりはもちろん、お互いの助け合い、支え合いの中で私たちは生きています。取ったり、もらったりだけでなく、恩返しやお礼をして周りの人に喜びを与えるという、私たち一人ひとりのささやかな行いが、周りの幸せのためになり、行いを通じて自分も幸せな気分になります。これは介護に限らずどんな仕事にも共通した大切な気持ちだと思います。

七恵会のロゴマークに込められた慈悲の実践である「無財の七施」の心、仲間とのつながり、地域との共生を大切に介護に努めて参ります。

守屋三千夫

コロナワクチン接種延期のお知らせ

日頃、当施設の感染予防対策へのご理解とご協力をいただきありがとうございます。

1月末からの感染症の発生により、2月6日に予定しておりました5回目の新型コロナワクチン接種を延期させていただきました。

入居者様、ご家族の皆様には、ご心配とご迷惑をおかけして誠に申し訳ありませんでした。3月に改めて5回目のワクチン接種を予定しておりますので、どうぞご安心ください。

コロナウイルスに限らず、インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症の流行期で、季節の変わり目の体調を崩しやすい時期でもあります、入居者様の体調の変化について慎重に見守って参ります。

今後も、入居者様、ご家族様に安心していただけるよう各部署が連携して、積極的な感染症予防に取り組んで参ります。ご家族様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

看護係

3月の行事食

3月3日(金) ちらし寿司

3日には、入居者様の食形態に合わせた「ちらし寿司」を提供致します。

Wikipediaによると、備前岡山藩主・池田光政公の出した「食膳は一汁一菜にせよ」という儉約令のため、贅沢ができなくなってしまった庶民たちが反発してさまざまな魚や野菜を隠し混ぜて食べていたのが由来とされています。

海の幸、山の幸をのせた、春らしい彩り豊かなちらし寿司を当苑ではご堪能いただけます。

管理栄養士 横井葉月



2月の行事

1/26~2/25 spring is near



楽しみにしていた1月末の「初詣」が中止になってしまい入居者の皆様をがっかりさせてしまいました。

愛ユニットでは、バレンタインデーを兼ねて入居者の皆様に手伝っていただき、ホットチョコレートを作りました。様々な食形態に合わせて提供できるため、皆様に喜んでいただくことができました。

一日も早くコロナが終息して、入居者様の明るい笑顔が見たいです。



感染症発生について

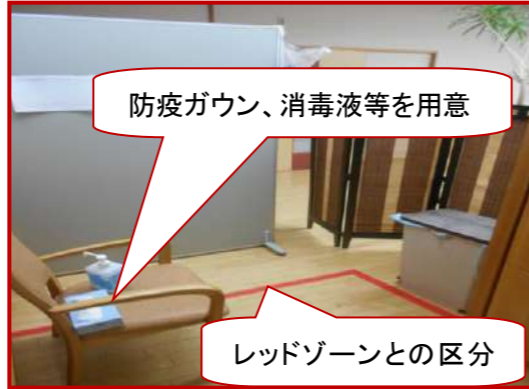
1月末からの感染症発生のため、入居者の皆様、ご家族の皆様に多大なご心配とご迷惑をおかけしたこと誠に申し訳ありませんでした。

感染症の発生が確認された後、直ちに感染症対策委員会の委員長である看護主任の指示のもと、ゾーニング等の対策をとり感染拡大を図りました。幸いなことに新型コロナでもインフルエンザでもなく感染力の強い風邪であろうとの囑託医の診断が出ました。症状はすぐに治まり大事には至りませんでした。感染症の恐ろしさを実感するできごとでした。

ゾーニングとは、清潔・不潔を区別することで、安全なケアを提供でき、入居者様同士の感染を防ぎ、二次感染三次感染を防ぐという感染症対策の基本となるものです。下の写真のようにゾーンを分け、他ユニットとの行き来を遮断、ガウンやマスク、手袋などを用意、決められた区域内での着脱を行いました。

感染症は「持ち込まない」「持ち出さない」「拡げない」が3大原則です。入居者様、職員を守り皆様に安心して第三長上苑をご利用いただくため、いっそう感染対策を徹底して参ります。

第三長上苑介護係長 大地隆友



防疫ガウン、消毒液等を用意

レッドゾーンとの区分



他ユニットとの交流遮断

介護用品について（歩行補助具編）

施設では、入居者様の身体や歩行状態に合わせ、歩行用の補助具を使い分けています。車いすなどと比べると転倒のリスクはありますが、自らの足で歩くことは、心身の活性化につながり、意欲的な生活を送る重要な要素です。



杖

最も一般的な歩行補助具です。杖には「歩行の安定化」「足腰の負担軽減」「転倒予防」「疲労抑制効果」などの効用があり、けがをした後のリハビリにも使われています。



ピックアップウォーカー

別名「四点歩行器」と言います。四つの脚で支える為、杖に比べて安定性が良く、歩行が不安定な方に適しています。キャスターのついたタイプもあります。



シルバーカー

ハンドルを握って押しながら歩くことで、左右のバランスが取りやすく、安定した姿勢で歩くことができます。ハンドルの角度など種類があります。



おめでとうございます

2月に104歳の誕生日を迎えられた入居者様へ、囑託医の坂の上ファミリークリニックより、素敵な花束が贈られました。

届けてくださった中村先生とパチリ！

その後、花瓶に活けられたお花は、春間近のお部屋を優しく彩っています。



三上翔華

実習生紹介

2月6日より、聖隷クリストファー大学福祉専門学校1年の三上翔華(ミカミショウカ)さんが、実習に来ています。

学校で学んだことを福祉施設の現場で確認し、介護に必要なコミュニケーションやスキルを身につけようと頑張っています。

温かい目で見守って参ります。



3月の行事予定

日	曜日	時間	内容
2日	木	15:30	フラワーアレンジメント
2日	木	AM	職員健康診断
6日	月	13:00	天王病院 回診
7日	火	未定	坂の上 FCL 回診
9日	木	PM	職員健康診断
13日	月	9:00	理美容
20日	月	9:00	入居者様 体重測定
20日	月	10:00	運営推進会議
20日	月	13:00	天王病院 回診
21日	火	10:30	防災訓練
24日	金	10:00	自動車文庫
31日	金	終日	外出企画(お花見)

赤えんぴつ

「結果だけを求めると、大事なものを失う。」これは、森岡利行という脚本家が、ドラマの脚本に書いたセリフです。

今は、結果ばかり求めて、結果が出るまでの過程を見ようとしません。求められるほうは、結果を出したいがために、ルールを破るものも出てきます。

SNS等の発達で、さまざまな情報を簡単に手に入れることができるようになり、本で調べる、人に聞くなど手間をかけなくなりました。しかし、SNSはツールであって目的ではありません。世の中が進歩することは、いいことですが、そこに人の心があってこそその豊かな社会なのだと考えます。

施設の業務もIT化が進んできましたが、使うのはあくまで人間です。すぐれたシステムを活かして、入居者の皆様、ご家族の皆様に喜んでいただける介護を行って参ります。

第三長上苑 守屋三千夫